【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公開番号】特開2019-187631(P2019-187631A)
【公開日】令和1年10月31日(2019.10.31)
【年通号数】公開・登録公報2019-044
【出願番号】特願2018-81517(P2018-81517)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｊ　31/02　(2006.01)
Ａ４７Ｊ　31/06　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　77/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｊ　31/02
Ａ４７Ｊ　31/06　１６０
Ｂ６５Ｄ　77/00　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和2年11月12日(2020.11.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
袋本体１０は、上辺１１ａが通水濾過性シートの折山で輪になっており、下辺１１ｂ及び左右の側辺１１ｃ、１１ｄがシールされた矩形の平袋であって、対向する２面を有している。袋本体１０の上辺１１ａには、その全幅にわたり易開裂線として開封用ミシン目１２が設けられている。開封用ミシン目１２としては、ミシン目の開封を容易にする点から、マイクロミシン目を形成することが好ましい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
掛止部材２０と通水濾過性シート４１との貼着を、通水濾過性シート４１側から加熱ヘッドをあて、通水濾過性シート４１と掛止部材２０とを熱溶着させることにより行う場合、本来の貼着域と共に、袋本体１０の開封開始部となる部分にも加熱ヘッドをあて、通水濾過性シート４１に脆弱化部分を形成することが好ましい。この脆弱化部分の形成により袋本体１０の開封に必要とされる力を特に低減させることができるので好ましい。